

もしも、2000年後にスマートフォンや蚊取り線香が化石となって出土したら、未来の人たちはどんなふうにいるのでしょうか？2000年後に発掘された現代社会をテーマに制作を続ける美術家・柴川敏之さんの作品と、くらしき市民講座「未来と過去へタイムスリップ 2000年後の化石をつくろう！」に参加した小学生が作った今のモノの化石作品を、倉敷の出土品と共に倉敷埋蔵文化財センターで展示します。倉敷で発掘された過去のモノと、未来の倉敷で発掘されるかもしれない現代のモノの化石。「過去」と「未来」を行き来しながら、今の時代について考え、私たちの生活をみつめ直してみましよう…。

倉敷埋蔵文化財センター | KURASHIKI ARCHAEOLOGICAL CENTER

倉敷埋蔵文化財センターはライフパーク倉敷内にある施設で、市内の埋蔵文化財を保護・保存するための拠点施設として平成5年に開館しました。館内には、出土遺物を陳列した展示室やそれらを保管する収蔵庫をはじめ、遺物の化学的処理を行う木器・鉄器保存処理室や遺物整理室などがあります。

柴川敏之 | SHIBAKAWA TOSHIYUKI

美術家、就実短期大学教授。岡山市在住。

1966年大阪市生まれ。広島大学大学院修了。在学中から自ら絵具を作り絵画制作を行う。1997年に文部省在外研究員としてイタリアに滞在し、フレスコ画やポンペイ遺跡の研究を行う。1994年から広島県福山市の草戸千軒町遺跡やポンペイ遺跡に触発され「2000年後に発掘された現代社会」をテーマに制作を始める。国内外のミュージアムをはじめ、歴史的建造物や商店街など、地域や場所にこだわった展覧会やプロジェクトを行っている。また同時に子どもたちや一般の人々を対象にしたワークショップを行い、物の存在や現代の諸問題を見つめ直す活動を続けている。



個展・プロジェクト（青森県立美術館、川崎市市民ミュージアム、佐倉市立美術館、京都芸術センター、広島県立歴史博物館、奈義町現代美術館、高知県立美術館、九州芸文館他）、グループ展（十和田市現代美術館、東京ステーションギャラリー、上野の森美術館、鞆の津ミュージアム、北九州市立美術館他）、ワークショップ等（北海道大学総合博物館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館他）、倉敷では、2016年「『発掘された過去・現在・未来』岡崎和郎×柴川敏之 | 未来の化石・化石の未来」/倉敷市立美術館、2010年「大原美術館の80歳をお祝いしよう！プロジェクト」/大原美術館、2007年「2000年後のステンドグラス」/倉敷市立美術館など。
ホームページ：<http://www.planetstudio41.com>

お問い合わせ先

ライフパーク倉敷 市民学習センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田9-4-0番地

086-454-0011

火～土曜日 / 9:00～21:00

日曜日・祝日 / 9:00～17:15

休館日 / 月曜日

月曜日が祝日にあたる場合は、その次の平日が休館となります。

ホームページ

<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/lpk-shimin-gakushu-c/>

ライフパーク倉敷への交通のご案内

国道2号線 笹沖交差点から車でおよそ15分

（古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折）

JR倉敷駅からタクシーでおよそ25分

瀬戸中央自動車道 水島I.C.から車でおよそ10分

（広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折

下電バス

倉敷駅5番 JR児島駅行（塩生線）

児島駅1番 JR倉敷駅行（塩生線）

福田中学校前停留所から徒歩でおよそ20分

時刻表について 下電バス児島営業所 086-472-2811



メールマガジン毎月1日配信中

ライフパーク倉敷、公民館の講座情報を配信しています。つぎのアドレスに空メール送信で登録完了。講座は、別途お申し込みが必要です。

touroku@mmg.city.kurashiki.okayama.jp

